

索道安全報告書(令和5年度)

□ ご利用の皆様へ

当社の索道事業に対しまして、日頃のご利用とご理解をいただき誠にありがとうございます。当社は経営理念の第一に安全確保を揚げ、法令の順守と共に安全輸送に努めております。

本報告書は鉄道事業法に基づき輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態について自ら振り返ると共に、広くご理解をいただくために公表するものです。皆さまからの声を輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

株式会社星野リゾート・トナム

総支配人 渡辺 巖

□ 輸送の安全を確保するための基本的な方針

1. 総支配人は、安全第一の意識をもって事業活動を行なえる体制の整備に努めるとともに索道施設及び職員を総合活用して輸送の安全を確保するための管理の方針を具体的に定める。
2. 職員等の安全に係る行動規範(安全の基本理念、安全方針)は、次のとおりとする。
 - (1) 安全はすべてに優先する。
 - (2) 一致団結して輸送の安全確保に努めること。
 - (3) 輸送の安全に関する法令及び関連する規定をよく理解するとともに、これを厳守、厳正に遂行すること。
 - (4) 常に輸送の安全に関する状況を理解し情報の共有を図ること。
 - (5) 情報の伝達は、迅速及び正確に伝え、透明性を確保すること。
 - (6) 事故又は災害が発生した時は人命の救助を最優先とし速やかに行動し安全を確保すること。
 - (7) 常に問題意識を持ち安全確保の向上と研究に積極的に取り組むこと。

□ 索道の輸送に関する安全目標

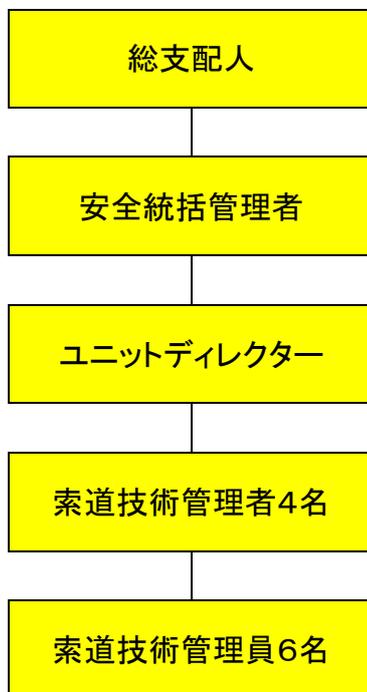
1. 始業点検表に基づく安全点検徹底による安全確保に努める。
2. 毎日朝礼を行い、全索道技術管理者/管理員へ情報共有を実施する。
3. 常に自然環境(気温・天候・風向き・風速)に注視し安全確保を行う。
4. 運行中の機器の点検を行い機器の特徴を理解し安全運行を実施する。
5. 1ヶ月検査(必要に応じて臨時検査)の確実な遂行。
6. 作業時や運行時における安全確保を徹底し「労災事故ゼロ」を目指す。
7. ヒヤリハットデータを集計し・分析・問題抽出・対策を確実に行う。

□ 輸送の安全を確保するための事業の実施及び管理の体制並びに方法

輸送の安全の確保に関する組織体制

1. 総支配人は、輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
2. 総支配人は、輸送の安全を確保するための索道事業の実施及び管理の体制を整備するとともに、索道事業の実施及び管理を確認する。
3. 総支配人は、索道事業の遂行に際し、設備、運行、要員、投資、予算その他の必要な計画の策定において、次条に掲げる者その他必要な責任者に対し、安全性及び実現可能性の観点からの検証を行わせる。
4. 総支配人は、輸送の安全確保するため、索道事業の実施及び管理の状況を把握し、必要な改善を行なう。
5. 総支配人は、輸送の安全確保に関する改善施策の決定に際しては、安全統括管理者のその職務を行なう上での意見を尊重する。
6. 総支配人は、事故、事故のおそれのある事態、災害その他輸送の安全確保に支障を及ぼす恐れのある事態(以下、「事故・災害」という)規模の内容に応じ、対策方法その他必要な事項を職員等に周知・徹底する。

当社の安全管理組織体制



総支配人

輸送の安全に関する最終的な責任を負う。

安全統括管理者

索道事業の輸送の安全に関する業務を総括する。

ユニットディレクター

輸送の安全確保に必要な設備投資、人事、財務に関する業務を統括する。

索道技術管理者

安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守の管理、その他の技術上の事項に関する業務を統括する。

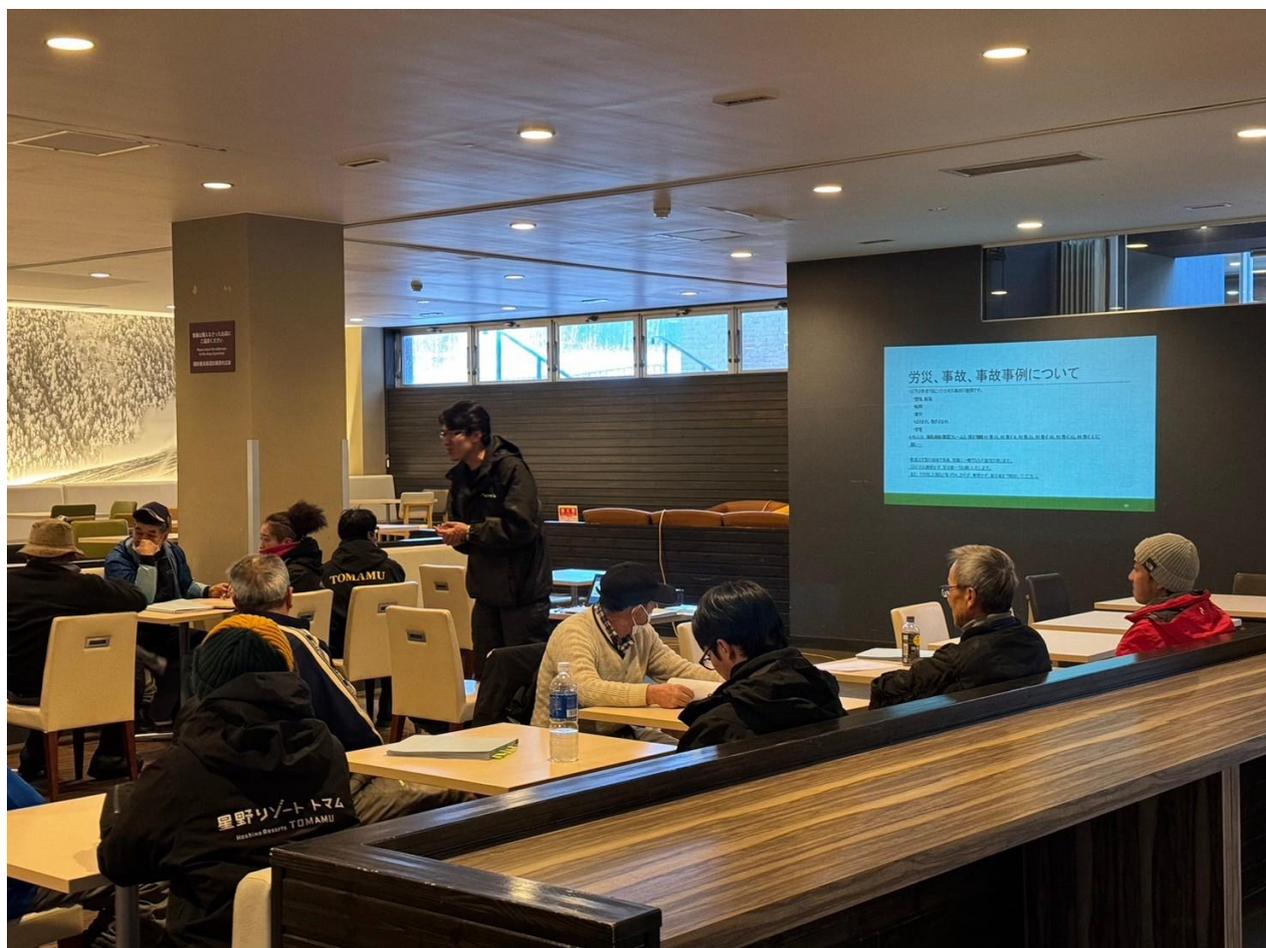
索道技術管理員

索道技術管理者の指揮の下、索道技術管理者の行なう業務を補助する。

□ 輸送の安全確保のための取り組み

1. 従業員教育

星野リゾート トナムスキー場では、毎年索道施設の運転教育・設備教育・救助教育・接客教育を実施しており索道施設運営の基本を学びます。







2. 緊急時対応訓練

従業員教育後、実際に索道事故や災害を想定した救助訓練を実施しています。











3. 設備投資

毎年星野リゾート トナムスキー場では、索道施設の夏季整備計画を立て安全の維持・設持のため実施しています。本年度の整備内容は主に電動機分解点検整備・支柱受圧索装置関係・場内レール調整などの整備や部品交換等を実施いたしました。

4. 予備原動機習熟訓練

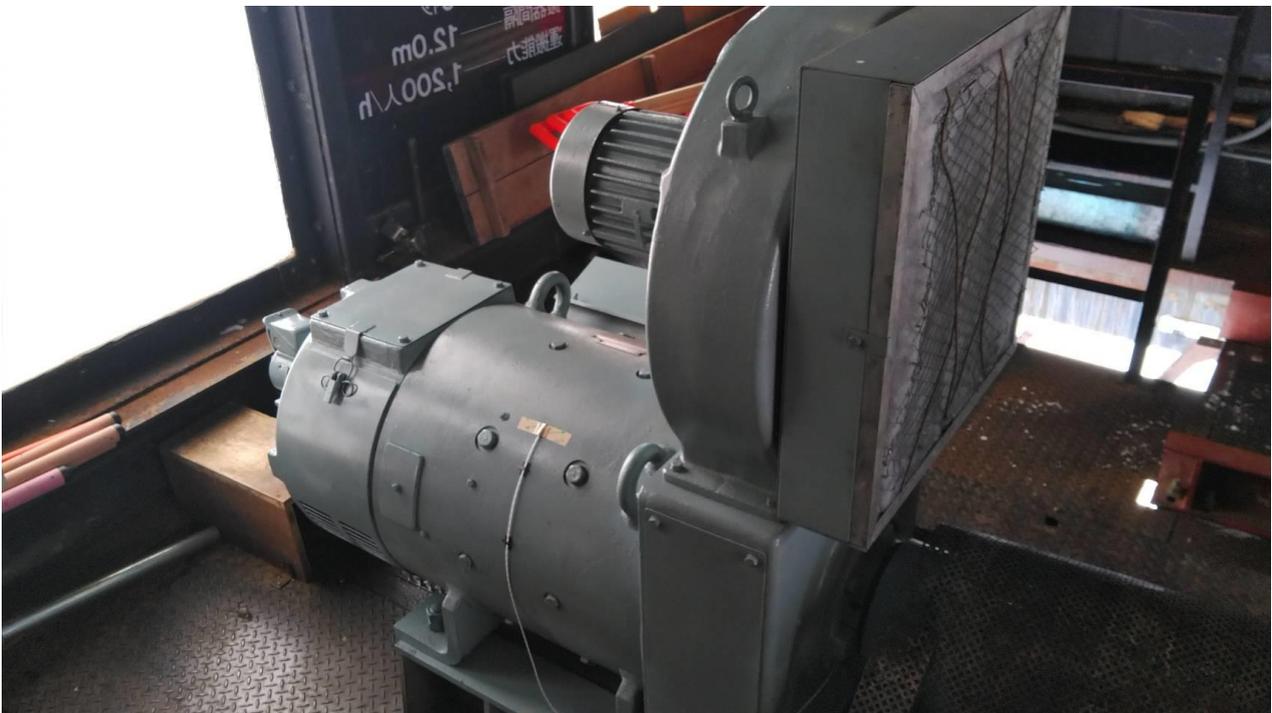
全索道従事者へ、随時、予備原動機習熟訓練を実施しております。







6.ニポチェア・ロマンステェア 電動機オーバーホール



7.タワーエクスプレス 場内レール調整 閉口/開口ガイドシュー更新



8.タワーエクスプレス 第 1.17号支柱 索受ブッシュ及びピン交換工事

<実施した主な整備>

雲海ゴンドラ・・・制動機調整、索輪交換、

原動滑車・終端滑車グリスアップ、
各支柱グリスアップ、場内レール点検、搬器吊りボルト点検、
握索機オーバーホール、搬器ドアケーブル交換、
押送タイヤ・ベルト交換、索輪ゴムタイヤ・ベアリング交換工事、
ベベルギアボックスオイル交換等

トナムエクスプレス・・・制動機調整、押送タイヤ・ベルト交換、

索輪ゴムタイヤ・ベアリング交換工事、
原動滑車・緊張滑車グリスアップ、各支柱グリスアップ、
握索機ローラー交換各種、握索機タンク交換、
搬器フード部品交換各種、緊張装置油圧ユニットオイル交換、
ベベルギアボックスオイル交換、等

タワーエクスプレス・・・山麓機械室内走行レール調整、閉口/開口レール更新、

第 1.17号支柱 索受ブッシュ及びピン交換工事、
押送装置交換各種、フード開閉装置部品交換各種、
制動機調整、索輪ゴムタイヤ・ベアリング交換工事、
原動滑車・緊張滑車グリスアップ、各支柱グリスアップ、
握索機分解点検整備(クランプブロック、メインパーツ、
クランプピース、さらばね、リージングローラー、
ガイドローラー全台更新)
緊張装置油圧ユニットオイル交換、
制動装置油圧ユニットオイル交換、
ベベルギアボックスオイル交換、等

パウダーエクスプレス・・・制動機調整、索輪ゴムタイヤ・ベアリング交換工事、
原動滑車・緊張滑車グリスアップ、各支柱グリスアップ、
握索機ローラー交換各種、
握索機タンク交換、搬器フード部品交換各種、
押送タイヤ・ベルト交換、予備原動機オイル交換、
緊張装置油圧ユニットオイル交換、
ベベルギアボックスオイル交換、ベベルギアボックス更新、等

ロマンスチェア・・・電動機オーバーホール、制動機調整、
索輪ゴムタイヤ・ベアリング交換工事、
原動滑車・折返滑車グリスアップ、各支柱グリスアップ、
握索機整備(さらばね全台新品交換)搬器部品交換各種、
予備原動機オイル交換、油圧緊張ユニットオイル交換、等

ニポチェア・・・電動機オーバーホール、制動機調整、索輪ゴムタイヤ・ベアリング交換工事、
原動滑車・折返滑車グリスアップ、各支柱グリスアップ、
握索機整備(さらばね全台交換)、乗越検出装置リミットスイッチ新品交換、
搬器部品交換各種、予備原動機オイル交換、等

ゴンドラ、各リフト・・・機械点検整備、電気点検整備、消耗部品交換各種、振動検査等

□索道事故及びインシデントについて

令和5年度の索道運転事故・インシデント等の発生状況のまとめ

令和5年4月1日～令和6年3月31日

1. 索道運転事故の発生状況

普通索道「雲海ゴンドラ」……索道運転事故等の発生はありませんでした。

特殊索道「トナムエクスプレス、ニポチェア、ロマンスチェア、タワーエクスプレス、パウダーエクスプレス、トナムエクスプレス」……人身傷害事故 1件

索道人身傷害事故

場所 ニポチェア

索道種類 単線固定式特殊索道

発生日時 R5.12.26 16:00頃

事故概要 山頂停留場で降車しようとした2名のうち1名が、降車位置を過ぎても降車せず、降車位置から2Mすぎた場所で降車した為、搬器にでん部を押され前方に転倒した。リフトの降車係は当該乗客の降車のもたつきを察知し、停止させようと操作盤の方に振り返ったが、その際に当該乗客が転倒したため、監視係がリフトを非常停止した。なお、当時は1.6m/sの減速運転を行っていた。(最高速度2.0m/s)

事故原因 乗客の不注意 停留場での接触事故

再発防止策 リフト係員に当該事象の発生を周知するとともに、初心者が多い繁忙期には必要に応じ減速で運転すること、降り損ないが発生したときは非常停止することを改めて周知した。

2. インシデントの発生状況

普通索道「雲海ゴンドラ」……インシデントの発生はありませんでした。

特殊索道「トナムエクスプレス、ニポチェア、ロマンスチェア、タワーエクスプレス、パウダーエクスプレス、トナムエクスプレス」……インシデントの発生はありませんでした。

令和5年度(令和5年4月1日～令和6年3月31日)はご利用いただいた多くの皆様に感謝申し上げます。

お客様のご意見を頂戴し、今後も更なる安全管理に努めて参りたいと考えております。

連絡先 株式会社星野リゾート・トナム スキー場事務所

TEL 0167-38-2111 FAX 0167-38-2102

E-MAIL ski@slowtomamu.co.jp

安全統括管理者 後木 洋祐